



「妙高市民の心」作文 優秀作品集

最優秀賞

☆小学生1年生～3年生の部

「わたしのかみのけ」

斐太北小学校 2年 ^{かずみ ひかり} 鹿住 光李

わたしは、ながいかみのけがすきです。生まれてからずっとのばしていました。おしりまであるとてもながいかみのけです。

でも、少し前にずっときりたくないとおもっていたかみのけをはじめてきりました。

おかあさんや先生に、かみのけをきふできるとおしえてもらったからです。わたしのかみのけは、びょうきやじこでかみのけのない子どものやくにたつとしりました。

はじめてびょうしつで、かみのけをきるときは、みじかくなったらどうなるんだらうとドキドキしました。

きったときは、かみのけがみじかくなって少しかなしかったけど、わたしのかみのけでこまっている人をたすけることができうれしかったです。きってよかったなあとおもいました。

わたしは、またかみのけをのばしています。ながくなったら、またきふをしてこまっている人のやくにたちたいです。





☆小学生1年生～3年生の部

「家族で食べるごはんがおいしい」

新井中央小学校 3年 ^{あらい}新井 ^{りん}琳

ぼくは、今年の夏に新がたコロナウイルスかんせんしょうにかかってしまいました。高いねつが出てあたまがいたくてとてもつらかったです。家族にうつさないようにごはんを自分の部屋で一人で食べました。

ねつが下がってあたまもいたくなくなったけど一人でごはんを食べなくてはいけません。お母さんは、ぼくの部屋にようすを見るためになんども来てくれるけど、一人で食べるごはんは、とてもさみしかったです。

十日がたちました。家族とごはんを食べることができるようになりました。

家族と話をしながら食べるごはんは、いつもよりもとっても楽しく、おいしく感じました。いつもは、あたりまえだったことが、こんなに楽しく感じると思いませんでした。

新がたコロナウイルスかんせんしょうになったことは、とてもいやなことでしたが、家族で食べるごはんがおいしいと気がつくことができてよかったです。





☆小学生1年生～3年生の部

「止まって右・左・右」

妙高高原南小学校 3年 ^{よこやま}横山 ^{みき}美紀

わたしのすんでいる所の近くには、横断歩道があまりありません。なので、家の前にある広場まで行くときは、車によく気をつけてわたっています。わたしが、道をわたるときに止まってくれる車もあります。そんなときには、わたしは、わたる前やわたったあとに、れいをするようにしています。これは、お母さんやお兄ちゃんがやっていたのでまねをしてやっています。

わたしが、道をわたろうとしていると車にのっている人が止まってくれることが多いです。また、お母さんやお父さんが車にのっていて、道をわたろうとしている人がいたら、止まっています。自分の地いきの人だけでなく、いろいろな所から来た人でも、やさしい人がいっぱいいたので、すごくいいことだなと思いました。なので、こんどから止まってくれた人がいたら、前よりかんしゃをもってわたりたいと思います。

